

2022年度 清水学院高等専修学校
自己点検及び学校関係者評価委員会 報告書

評価：適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

重点目標

- ① 健全な青少年を育成する。
- ② 一人ひとりを大切にする教育体制を構築する。
- ③ 入学を志願する生徒数を増加させる。

1. 教育理念・目標

評価項目	自己評価	改善のための方策	関係者評価	学校関係者評価委員の意見
教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	3		3	・特になし
教育目標は卒業時の到達が読みとれるものになっているか	4		4	
教育理念並びに教育目標は定期的に見直されているか	3		3	
教育理念並びに教育目標が教職員・生徒に浸透しているか	3	様々な場面で、教育理念や教育目標を結びつけながら話をするなどし、日常の活動で浸透させていく。	3	

2. 教育活動

評価項目	自己評価	改善のための方策	関係者評価	学校関係者評価委員の意見
カリキュラムは教育目標が反映されているか	3		3	<p>・デジタル教材などが普及するなかで、現状導入がされていない。今後のデジタル教材活用方法の展望についても考えていく必要性を感じる。</p> <p>→従来使用している紙ベースの教材が持つメリットや重要性を再認識しつつ、デジタル教材の研究を併せておこない導入有無についても検討できる地盤をつくっていく。</p>
定期的なカリキュラムの見直しがなされているか	3		3	
テキストや教材は適切なものを選定しているか	3		3	
授業の点検・評価が適切に実施されているか	3	事前に重点を明確にすることで、継続的に授業の点検が行いやすい環境をつくる。	3	
資格試験の合格率は	3	合格率が低くなりやすい級について効果的な事前指導方法を確立する。	3	
資格試験不合格者の対策は	3	原因の分析と対策を個々におこなうことで、その受験者に合った対策方法を確立することが肝要。	3	
評価は適切な方法で行われているか	3		3	
目標に到達しない生徒に対し適切なフォローがなされているか	3	目標到達が困難な生徒にとって、科目によっては定着までに時間を要するものも多い。時間の確保だけでなく、対応方法の質向上を図る。	3	
進級、卒業の判定審査は適切に実施されているか	3		3	

3. 生徒受入

評価項目	自己評価	改善のための方策	関係者評価	学校関係者評価委員の意見
生徒募集のための資料の表現・内容並びに募集活動の方法・時期は適切か	3	学校が持つ特性とブランド力を前面に出した資料の作成が肝要。	3	<p>・近年、学校説明会の申し込みのほとんどがホームページからおこなわれている。そのことから、学校の情報収集としてホームページが利用されていることがわかる。そのうえで、ホームページ上での情報公開内容や方法などをより重要視する必要性を感じる。</p>
入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	3		3	
募集要項の内容は適切か	3		3	
学校見学会の時期、内容は適切か	3		3	
入学者選抜の時期、方針、方法は適切か	3	ホームページを利用した合否発表をするなどし、受験者自身が合否を確認できる方法をとる。	3	
志願者状況、定員充足率はどうか	2	課題は見学者の入学率よりも、見学者数にある。見学につながるための配布資料、ホームページの活用方法など広報活動を改めて見直す必要がある。	2	
中途退学の理由・実状を適切に把握しているか	4		4	

4. 教職員組織

評価項目	自己評価	改善のための方策	関係者評価	学校関係者評価委員の意見
専任教員は設置基準を満たしているか	4		4	<p>・教員の人材確保が困難になってきている現状、対象や方法について再検討する必要があるのではないか。</p> <p>→現在の時代に即した方法を検討するためにも、大学における就職活動事情などを含めた情報収集に動いていく。</p>
専任教員1人あたりの担当科目時間数は適切か	2	講師を確保するうえで、依頼科目の幅を広げるなどして対応する。	2	
教職員の業務分掌は明確になっているか	3	業務における担当と責任者での打ち合わせ、また担当と他の職員との情報共有する機会を意図的に増やす。	3	
教職員の能力、業務内容の評価を定期的実施しているか	3		3	
教職員の資質向上のためのシステムは適切に構築されているか	3		3	
職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか	3	人数確保の為、講師の契約数を増やすことに併せ、他業務の効率化を図ることも肝要。	3	

5. 施設・設備等

評価項目	自己評価	改善のための方策	関係者評価	学校関係者評価委員の意見
教室は学習を行うのに十分な面積を有しているか	4		4	・特になし
実習室は実習を行うのに十分な面積を有しているか	4		4	
実習設備は整備されているか	3		3	
教室・実習室の管理は適切に行われているか	3		3	
生徒が自学自習できる教室を有しているか	3		3	
保健室は適切に整備されているか	3		3	
教育用機器備品は整備されており活用されているか	3	タブレット等の機器について、より効果的な活用方法を研究するなど、教職員の活用に対する意識向上が肝要。	3	
職員室の管理は適切に行われているか	3		3	
事務室の管理は適切に行われているか	3		3	

6. 生徒生活支援

評価項目	自己評価	改善のための方策	関係者評価	学校関係者評価委員の意見
生徒と相談する体制が整備・機能しているか	4		4	<ul style="list-style-type: none"> ・保存食の備蓄等最低限の準備は整っているように受け取れる。様々な状況を想定した際、公共交通機関を利用した生徒の学校滞在における準備など、まだ改善がみられるのではないかと。
各学校行事について、適切な事後反省を行っているか	4		4	
防犯・防災訓練の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か	3	水消火器の導入など、年2回ある防災訓練内でテーマを決め、避難訓練だけに偏らない訓練を実施する。	3	
進路活動に関する支援が整備され、機能しているか	3		3	

7. 管理・運営

評価項目	自己評価	改善のための方策	関係者評価	学校関係者評価委員の意見
消防計画、学校安全計画等は適切に整備されているか	4		4	・特になし
個人情報保護法を遵守しているか	4		4	
セクシャルハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか	4		4	

以上、本校の教育研究活動等の学校関係者委員会の意見として報告します。